

農業情報

9月は台風が接近、上陸しやすい時期です。気象情報に注意して、予め強風や大雨などへの対策を実施しましょう。

まだまだ残暑厳しい日が続くと思われまますので、水分を取って体調には十分に注意しましょう。

■水稻の品質・登熟を高める水管理

出穂後30日頃(9月上旬)までは玄米肥大が旺盛な時期であり、間断かん水や飽水管理をきめ細やかに行い、根の活力維持を図りましょう。

落水時期の目安は、普通田で出穂後30日、排水不良田で25日、砂質系で保水性の劣る田では35日程度であるが、胴割粒の発生が懸念されるため、落水時期はできる限り遅らせ、平坦部「はえぬき」で8月末から9月初め頃、「つや姫」では9月上旬頃までは落水を行わず、土壤水分を十分に保持しましょう。

■適期刈取りで高品質米の収穫

品質の高い良食味米に仕上げるには、適期収穫がポイントです。

刈取り適期の目安は、青籾歩合や枝梗の黄化、籾水分(25%以下)を考慮し判断しましょう。

刈始めの青籾歩合は、「はえぬき」、「雪若丸」は20%、「つや姫」、「あきたこまち」、「ひとめぼれ」、「コシヒカリ」は15%残った状態が目安です。

籾が全部黄色になると、穂の先の籾が刈り遅れになることがありますので注意しましょう。

早く刈ると青米、未熟粒、やせ米が多くなり、水分過多になりやすくなります。
⇒品質と収量が低下。乾燥経費(燃料費)の増大。

遅く刈ると胴割米、茶米、奇形粒等が増加し、過乾燥も起きやすくなります。
⇒品質、等級、食味が大幅に低下。

■米出荷支援対策

今年度も当JAでは、(株)ジェイエイトんどうフーズと下記の通り出荷奨励措置を講じてまいります。是非、JAへの米出荷をご検討下さい。

支援1	JA への売渡しが500俵以上 1俵あたり200円を助成します。
支援2	JA 出荷率70%を超えた俵数に対して1俵あたり200円を助成します。
支援3	フレコンバッグでの出荷の場合1俵あたり50円を助成します。
支援4	良食味米（食味値80以上）の出荷俵数に対して1俵あたり500円を助成します。 （但し、対象品種は、「はえぬき」「ひとめぼれ」「コシヒカリ」の主食用うるち玄米とする） ※JA 米検査室食味計使用による、計測値で判定したものとします。

■ 『もものせん孔細菌病』 対策

今年は6～7月中旬の降水量が多かったため、せん孔細菌病の発生が多い状況です。収穫が終わった品種（樹）から順次防除を実施しましょう。

せん孔細菌病の病原菌が葉で増殖し、秋季に落葉痕などから枝の皮層部に入り潜伏越冬し、翌春の感染源の春型枝病斑となるため、枝先まで丁寧に散布を行いましょ。

台風通過時は感染が広がりやすくなるため、通過前に防除を行いましょ。

また、被害の多い園地では、防風ネットの設置を検討しましょ。

- ・風当たりの強い園地
- ・川沿いの園地や水田に隣接した園地

湿った風が通る場所は特に注意！

防除時期	対象病害虫	薬剤名	倍数	収穫前使用日数 使用回数
収穫後 9月上旬以降		① アビオン-E（展着剤）	2,000倍	-
	せん孔細菌病	② ICボルドー412	30倍	-
	モモハモグリガ コスカシバ シンクイムシ類	③ フェニックスフロアブル	4,000倍	前日まで 2回以内
前回散布14日後		① アビオン-E（展着剤）	2,000倍	-
	せん孔細菌病	② ICボルドー412	30倍	-
前回散布14日後		① アビオン-E（展着剤）	2,000倍	-
	せん孔細菌病	② ICボルドー412	30倍	-

※必ず3回実施しましょ。